

令和4年度事業報告

概 況

我が国が超高齢社会に向かって歩みを進めている中で、ロシアのウクライナ侵攻の長期化、また、中国のゼロコロナ政策による経済活動の停滞による影響などにより、資源価格の高騰や、急激な円安による物価上昇のため、実質購買力の低下が懸念されるものの、新型コロナウイルスに対する行動制限緩和に伴い緩やかな回復基調を維持しています。

当センターの事業活動は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、総会又研修会は縮小、中止といたしました。

令和4年度の請負・委任事業の契約金額は、103,668,228円で前年度に比較し1,376,945円の減となり、派遣事業の契約金額は、25,533,760円で前年度に比較し1,634,147円の増となりました。又、安全適正就業に取り組みましたが、残念ながら傷害事故5件、物損事故4件が発生しました。安全就業は全てに優先する重要課題であり、事故0を目指して今後取り組んでいきます。

世羅町シルバー人材センターは、高齢者の知識や豊かな経験を生かし、地域の中核的な組織として、地域社会から幅広い理解と協力が得られるよう努めてまいります。

以下、諸事業の実施状況の概要を報告します。

1. 雇用によらない就業機会の提供 <公1> 1

①会員増強及び就業機会の提供

令和4年度の正会員の状況は、入会者20人 退会者34人 合計255人（男性182人、女性73人）前年度末に比べ、14人減となり課題を積み残すことになりました。3月の年度末に退会者が増えた要因として、加齢、病気、家庭の事情、他で就職をする等があげられます。

入会を希望する高齢者を対象に、毎月1回の入会説明会のほか、事務局窓口での随時説明と会員1人新規会員確保運動を実施しました。

また、入会説明会後の入会手続きにおいて個別相談に応じ、併せて会員互助会への加入奨励も行いました。

会員獲得については、会員の声掛けやセンターの広報誌シルバー世羅「大地」を年2回発行、ホームページ等で情報や仕事の確保に努め、一般高齢者に対し当センターのPR等を図りました。

女性会員の加入促進については、世羅町から介護予防・日常生活支援サービス事業

を引き続き委託契約し、講習会を開催するなど、女性会員の促進に取り組みました。

新規入会者や未就業会員に対し、就業機会の提供と情報の提供を行いました。

会員自ら新たな就業先を確保する会員1人1件の就業開拓を行い、就業延べ人員、就業率の向上に努めました。

2. 雇用による就業機会の提供 <公1>2(1)(2)

高齢者の多様なニーズに応えるため「臨時的かつ短期的な仕事」又は「その他の軽易な業務に係る就業」を希望する高齢者へ就業機会を提供し、また「シルバー人材センターの適正就業ガイドライン」に基づき、公益法人として法令遵守の立場から不適正な就業の是正に向け、シルバー事業に馴染まない事業については、労働者派遣事業や職業紹介事業へ切り替え、適正就業に取り組みました。

3. 就業に必要な知識及び技能を付与するための講習 <1>3

就業上必要な技能、知識を高齢者に付与するため、また会員の技能育成を図るため、剪定講習会を2日間の日程で開催し参加者は14名、また女性会員拡大を進める中、生活支援員講習会は参加人数を制限し参加者は3名で、それぞれ感染防止対策を講じながら実施することができました。

4. 社会活動を推進するための諸活動<公1>(1)(2)(3)(4)(5)

(1) 普及啓発活動

町民、事業所、官公庁に対し、ホームページの更新と広報誌シルバー世羅「大地」39号、40号を発行し、シルバー人材センター事業の紹介と周知を図りました。また全国一斉「シルバーの日」(10月15日実施)は、会員74名の参加により、町内の官公庁4か所を中心に草刈、草取り、剪定等の奉仕活動を行い町民へ広くシルバー事業をアピールしました。

(2) 安全・適正就業の推進

会員自ら健康管理と安全の確保を図りながら、センターから提供された仕事を安全かつ適正に遂行するため、7月の安全・適正就業強化月間だけでなく、安全委員独自による就業現場のパトロール、就業前点検の励行、安全就業器具のチェックを行い、会員の事故撲滅と安全意識の高揚を図りました。事故0を目指し、一層の事故防止に

努めたいと考えています。

（３）就業分野の開拓・拡大

新型コロナウイルスの感染拡大により、４月から６月は業務が低迷していましたが、家庭、事業所、官公庁等を訪問し、高齢者にふさわしい仕事を開拓し、会員の就業機会の場を拡げることができました。また、会員１人１件の就業開拓運動により、会員自らが就業開拓に取り組むことができました。

（４）相談・情報提供

入会を希望する高齢者を対象に、毎月１回の入会説明会を開催したほか、事務局窓口における随時説明や就業相談等の情報提供も行いました。

未就業の会員に対しては、本人の意向を聞きながら就業の紹介を積極的に行い、退会防止に努めました。

（５）社会参加活動の推進

地域社会への貢献及び社会参加活動の一環として、ボランティア活動を一般町民と連携して実施しました。

（６）役職員、事務局体制の強化

センターに関わる様々な課題を解決するため、決定機関である理事会が中心となって課題別に問題を提起し、諸問題の解決に対処しました。

事務局体制の強化と職務・役割分担を明確にし、迅速かつ適正な事業運営を行いました。また、シルバー事業の理解と関係知識の習得のため、中国ブロック協議会並びに県連合会が開催する各種の会議及び講習会、研修会等は新型コロナウイルスの感染症への対応を考慮しての開催となりました。